

3つの宝、この一球、小笠原流あいさつで明るい未来を!
マナーキッズテニス教室。知っていますか?

今、小学生の「やってみてみたいスポーツ」第一位はテニス。
キッズテニスの普及、ジュニアスクールの充実、漫画やアニメーションの影響、シラポワ人気など、子どもたちがテニスに憧れを持つ要素が多いことはうれしいことだ。日本テニス協会も、伊達公子さんの「カモン! キッズテニス」に続き、昨年「マナーキッズテニスプロジェクト」を立ち上げ、ちびっ子たちへのテニスの普及、テニスを通じての社会教育へと積極的に取り組んでいる。

早大は10年ほど前から、地域社会とのコミュニケーションを深めるための近隣住民へ学校施設を開放し、OBや現役学生がスポーツなどを指導するというボランティア活動を実施。大学の恵まれた設備で、トップクラスの選手や優れた指導者から直接手ほどきを受けられるこの取り組みは好評で、新しい大学のあり方とマスコミの注目も集めた。この取り組みの中でテニス部が開催したのが小学生テニス教室だった。

早大テニス部の小学生教室は、テニスというスポーツを通してマナーを教え、体を動かして運動能力を高めながら基礎体力の低下を防ぐというもの。OBの田中日出男氏が勤務先で、きちんとあいさつのできない社員が多いことに心を痛め、早大のテニスコートに集まる子どもたちには、テニスを通じてマナーの大切



さ教えようと提案したのがきっかけで「マナーキッズテニス」が生まれた。
まずはあいさつ。からと、小笠原流礼法の鈴木方皇子総師範を招いて正しいあいさつ指導が行われ、2日間の教室では宿題も出る。
宿題とは、
故・司馬遼太郎氏が小学生用教科書のために書き下ろした「21世紀に生きる君たちへ」朝日出版社、
慶應義塾大学テニス部OBで、経済学者・社会思想家であり、慶應義塾長であった小泉信三氏が遺したスポーツの3つの宝
・練習は不可能を可能にする
・フェアプレーの精神
・友は人生の宝
そして、早大テニス部OBの名選手、福田雅之助氏が遺した
・この一球は絶対無二の一球なり。されば心身をあげて一打すべし
という3つの文章を読んでもくるとい



マナーキッズテニス教室の詳細内容は日本テニス協会ホームページ
(www.jta-tennis.or.jp/kidstennis/)でご確認ください

ストリートに理解し、実行する能力を持つているとさえ感じるくらいだ。わたしも何度かお手伝いに行ったが、コートには「おはようございます」「ありがとうございます」「おはようございます」「ありがとうございます」など元気いあいさつが気持ちよく響き、真剣にボールを打つ子どもたちの上達ぶりには目をみはるものがある。
03年、勤務先を定年退職した田中氏が、この活動を全国に広げたいと寄付を募り、後援・協賛企業を集め、テニス協会を動かして2年がかりで実現させたのが「幼稚園・小学校マナーキッズテニスプロジェクト」。デモ教室の実施や用具の提供、継続的なコーチの派遣・指導を行い、子どもの遊び場とチャンスを提供しスポーツの普及と新たな人材育成に努めている。
このプロジェクトではボランティアのコーチ、個人一口5000円、法人一口5、000円の寄付金を求めている。わたしたちが愛するテニスという素晴らしいスポーツを使って、健康で礼儀正しい青少年を育てるこの活動を応援しようではありませんか。